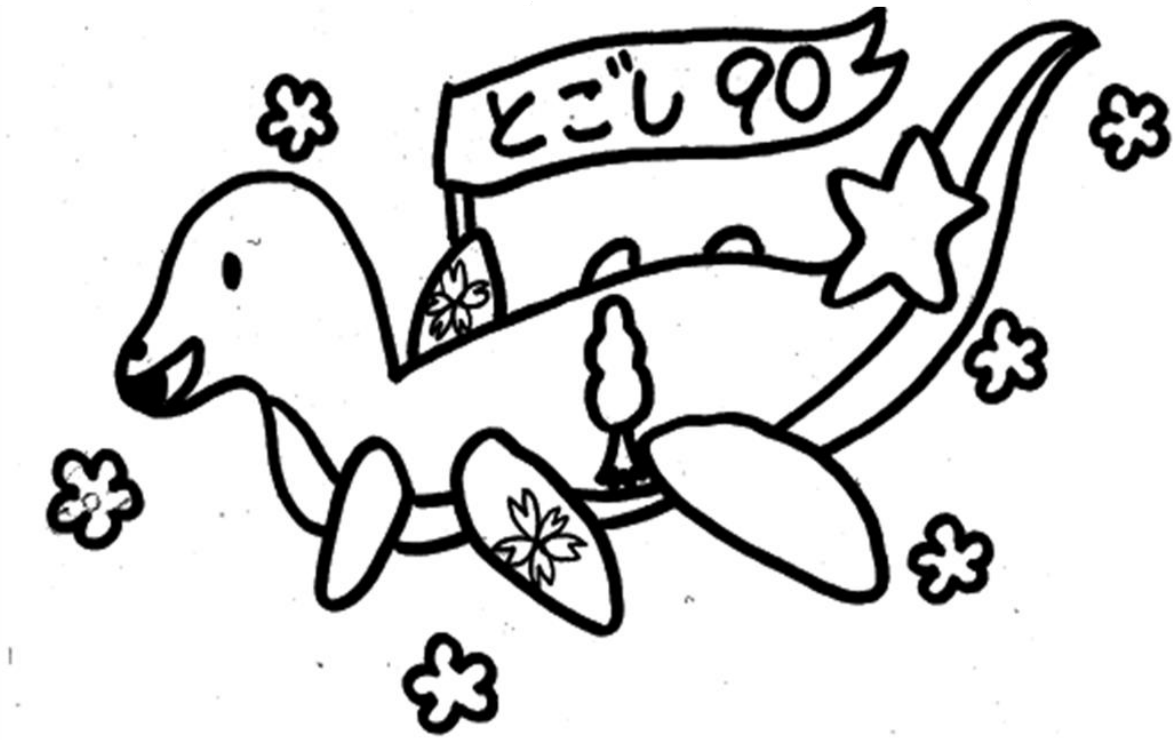
令和８年度

戸越スタンダード



家庭保存版

品川区立戸越小学校

学習スタンダード

１　学習の始め方、終わり方

・教師の指示、または係（当番）の児童が号令をかけ、授業の始まりと終わりを明確にする。

「いすの正座をしましょう」　＜姿勢チェック＞　「これから●時間目の□□（例：国語）の学習を始めます」　全「はい」　「礼」　「礼」の後、低・中学年は「よろしくお願いします」（語先後礼）　高学年は「起立」　「気をつけ」　「これから●時間目の△△（例：国語）の学習を始めます」　「はい」　「礼」　「よろしくお願いします」（礼）　「着席」

「いすの正座をしましょう」　＜姿勢チェック＞　「これで●時間目の□□（例：国語）の学習を終わります」　全「はい」　「礼」　「礼」の後、低・中学年は「ありがとうございました」（語先後礼）　高学年は「起立」　「気をつけ」　「これで●時間目の□□（例：国語）の学習を終わります」　「礼」　「ありがとうございました。」　（礼）　「着席」

・チャイムが鳴る前に着席する。
・次の学習の準備をしてから、休み時間にする。
・５分休みは、次の時間の準備のための時間なので、遊びの時間ではない。

＜姿勢チェック＞

１～４年：グー（机との間)、ペタ（足の裏)、ピン（背中)、サッ（手のひら上）
　　足裏ぺったん、おへそは前に腰立てて、手のひら上向きよい姿勢

５・６年：座る姿勢は下学年と同じ。起立の姿勢は、腕を横にしてまっすぐ立つ。





２　話の聞き方

・話をする人の目を見て、聞く。
・話を最後まで聞く。

３　発言の仕方

・静かに挙手する。（「はい！」と言わない。）
・指名されたら「はい」と返事をして立ち、いすを入れてから発言する。
（「はい」「立つ」「イン」「です」）

４　話し方

・聞き手の方を見て話す。
・質問に対して、文末まで意識して話す。「～です」「～だと思います」
・聞こえる声で、はっきりと話す。

５　ノートの取り方（全教科）

・「日づけ」「学習のめあて」を書く。
・必要に応じて「教科書のページ」「単元名」を書く。
・直線を引くときは、定規を使う。（全学年）
・下敷きを使う。　※下敷きは学習に適したものがよい。
・学年ごとに指定されたノートを使う。

６　学習用具のきまり

・筆箱の中　①Ｂまたは２Ｂの鉛筆４～５本（シャープペンシルは持って来ない。）
②消しゴム（よく消える白色で香りのないもの）
③赤青鉛筆（６年生は赤ボールペンも使用可とする。）
④１５ｃｍくらいの定規　⑤名前ペン



・筆箱は箱型でなるべく無地のもの。
・該当学年は算数袋を用意する。
［三角定規・スティックのり（２年～）、
コンパス（３年～）、分度器（４年～）を
入れておく。］



・習字セット（３年～）は毎回持ち帰り、家で筆を洗う。
・絵の具セット（１年～）は持ち帰り、中身の補充等行う。
・お道具箱に入れるものは、以下を参考にそろえる。お道具箱は学期末に持ち帰る。

学年	お道具箱の中身
低学年	はさみ、水のり、セロテープ、 クーピー、クレヨンまたはクレパス、折り紙
中学年	はさみ、水のり、セロテープ、ステープラー、ステープラーの 芯、クーピーまたは色鉛筆、算数袋
高学年	はさみ、水のり、セロテープ、ステープラー、ステープラーの 芯、クーピーまたは色鉛筆、算数袋

７　体育の服装

・体育着、赤白帽子で体育を行う。
・冬期は、担任から指示があった場合のみ上着を着用することができる。（上着はトレーナータイプのもの。ファスナーやフードが付いている上着は安全面上、不可とする。）また、タイツも不可とする。

・上着は、ズボンの中に入れる。
・レギンスは使用しない。（ただし、体育用レギンスのみ、体育時に着用することができる。体育時のみ着用するため、着替えの際に脱ぐこととする。）

学年別使用ノート

学年／種類	１年	２年	３年	４年	５年	６年
国語	・4 月～ 8 マス×6 行 破線入り ・10 月～ 10 マス×7 行 破線入り	12 マス×8 行 破線入り	15 マス×10 行 破線入り	18 マス×12 行 破線入り	15 行縦書き 縦破線入り	15 行縦書き 縦破線入り
算数	・4 月～ 10 マス×6 行 22 ミリ方眼 ・10 月～ 10 マス×14 行 15 ミリ方眼	10 マス×14 行 15 ミリ方眼	10 ミリ方眼	10 ミリ方眼	10 ミリ方眼	10 ミリ方眼
社会			10 ミリ方眼	10 ミリ方眼	10 ミリ方眼	10 ミリ方眼
理科			10 ミリ方眼	10 ミリ方眼	10 ミリ方眼	10 ミリ方眼
漢字練習 ノート	50 字 フリガナが ふれるもの	50 字 フリガナが ふれるもの	84 字 フリガナが ふれるもの	104 字 フリガナが ふれるもの	120 字 フリガナが ふれるもの	120 字 フリガナが ふれるもの

※担任から指示があった場合は、この限りではない。

◆使用させるノートの基本的な考え方

①マス目のあるノートを使用する。
・字の大きさや間隔をそろえて書かせることができる。
・書く量や時間の具体的なめあてをもたせることができる。
・マス目を使って、図表グラフを簡単に書かせることができる。

◆ノートを新しく買う時

・指定されたマスや行のノートを購入する。マスの大きさを勝手に変更することはしない。

生活スタンダード

１　きまり

（ア）学校の行き帰り

・決められた通学路を歩く。
・登校時間を守る。（８：００～８：１５）
・登校時は、通学路の近い方の門から入る。
　８：００になったら校舎内に入ることができる。
　開錠前に登校して、校庭で遊ぶことはできない。
・８時２０分からの朝会・朝の会に間に合うように支度を済ませる。遅刻の判断は担任が８時２０分の時点で判断する。
・登校途中および登校後は、忘れ物を取りに帰らない。
・原則ランドセルで登校する。（遠足、社会科見学などの場合は、リュックサック等学校から指定されたバッグで登校する。）
・登下校時は、必ずまもるっちを携帯する。１年生は、黄色い帽子もかぶる。
・まもるっちは毎日携帯する。他の携帯電話は認めない。
・まもるっちにはキーホルダーやマスコットなど余計なものは付けない。
・下校時は、正門または東門から帰る。
・５月から１０月末までは、必ず帽子を着用する。

（イ）校内生活

・名札は１年生のみ付ける。（登校したら左胸に付け、下校時は教室に置いていく。）
・まもるっちは学校モードにして、学級内の専用ケースに入れて管理をする。
・上履きは白い運動靴。（線が入っていてもよい。）正面から見える部分と、かかとの後ろの２ヶ所に記名する。
　※忘れたときは、外履きの裏を水で洗い、雑巾で拭いてから入る。



・体育着は必ず週末に持って帰って、洗う。
・上履きは、翌日土曜日授業のない月末の金曜日に持って帰って、洗う。
・登校後は上履きで外遊びを行うが、校庭体育の場合は外履きを使う。雨上がりで校庭を使う際には、外履きを使う。
・月曜日（休日の場合は、その週の初日）は、全校朝会を行う。
　週目標は、全校朝会時に、看護当番が全校児童に伝える。
・学校に忘れ物をして下校した場合、原則的には取りに再登校することはできない。どうしても必要な場合は、保護者同伴で再登校するか保護者が学校に連絡を入れてから本人が再登校する。帰りも必ず職員室に声をかける。
・お金や携帯電話を持って来ない。どうしても電話連絡が必要な場合は、担任の先

生に相談する。

・学校の授業で使わないものは持って来ない。（漫画、カードなど）

※雨の日遊びについて

○教室内で、みんなで静かに遊べる。
○漫画は禁止（歴史、百人一首のような学習漫画は可。）
○塾の宿題は持って来ない。
○物のやり取り（交換）は学校では禁止。家庭では大人のいないところでは物の交換は行わない。

この原則に沿って、学年で決めた物については持って来てよい。

・傘立てに置き傘をしない。置き傘は各教室の自分のロッカーに入れる。（置き傘は折りたたみ式のもの。）

・全ての持ち物に記名をする。

・職員室に用事がある時は、扉をノックし「失礼します」の後、「学年」「組」「自分の名前」「用件」を告げる。場合によっては入口で待つ。

（ウ）家庭や学校からの連絡

・欠席、遅刻の連絡は連絡帳に記入し、兄弟、姉妹に依頼するか、電話連絡またはFormsによるオンライン連絡（オンライン対応は８：２０まで）をする。遅刻をして登校する場合と病気やけがで早退する場合は、保護者が同伴する。

（エ）朝の健康観察

登校したらデイケンを入力する。担任は、毎朝、児童を一人ずつ呼名し、健康観察を行う。体調を崩している児童は返事をした後にその旨を申し出る。

（オ）遊びのきまり

・天気の良い日は、外に出て仲良く元気に遊ぶ。

・内遊びの日は、静かに教室で過ごす。

※内遊びになった日、決められた学年は、中休み・昼休みに体育館で遊ぶことができるが、必ず担任と一緒に行く。体育館への行き帰りは静かに歩く。ボールや大縄は体育館のものは使わず、学級のものを使う。

	月	火	水	木	金	土
体育館	１・２年	３年	４年	５年	６年	１・２年

・ボールを蹴る遊びをするときは、次の約束を守って遊ぶ。

○ボールはクラスボールを使う。※体育倉庫のボールは使えない。
○ボールが屋根の上にのってしまったときには、先生や主事さんにお願いしてとってもらう。
○校舎や金網に向かってボールを投げたり、蹴ったりしない。



○１・２年生は自然園側、６年生は体育館側のサッカーゴールを
使う。
○キャッチボールは朝礼台前で行う。
○鉄棒の補助具は、看護当番から借りて看護当番に返す。
○体育館遊びでは、ボールを蹴る遊びはできない。
○校庭、体育館の体育倉庫に、勝手に入ってはいけない。

・一輪車を使うときは、高さは変えずに自分に合った物を選んで使う。
・使った遊び用具（クラスボール、フラフープ、一輪車など）は、必ず元の位置に片付ける。
・うんていの上にはのらない。
・サッカーゴール、サッカーネットにはぶら下がらない。
・自然園で遊ぶときは、次の約束を守って遊ぶ。
○生き物・植物をとらない。
○歩くときには、レンガの上を歩く。
○池の水をかき回すと、生き物が驚くのでやらない。
・校庭の舗装されたところ（犬走り）では遊ばない。ただし、なわとびや一輪車は可とする。
・放課後遊びができる日は、１５：３０まで校庭で遊ぶことができる。
※学校だよりの月行事カレンダーに★印がついている日は、放課後遊びができる。
・チャイムが鳴ったら遊びをやめて、教室に戻る。

【中休みについて】
晴れていれば外で遊ぶ。体調不良などで具合の悪い児童（連絡帳が来ていたり、養護教諭が外遊びは無理と判断したりした児童　以下同じ）は、教員が付き添い教室内（保健室含む）か図書室で過ごす。また、この他に、担任や委員会担当教諭の判断で、どうしても優先してさせたいことがある場合、教員が付き添い、室内で過ごしてもよい。

【昼休みについて】
晴れていれば基本外で遊ぶ。
また、図書の返却、貸出は、昼休みに学校図書館に行き行うことができる。

（カ）時間のきまり
・時間のきまりは、人が集団生活をする上で、最低限守らなければならないマナーであり、しっかり守ってお互い気持ちよく生活するよう心がける。
・学校生活の中では、常に５分前行動を意識して行動する。

２　マナー

（ア）言葉遣い

・廊下などで友達や先生、主事さん、お客様に会ったら、挨拶や会釈をする。
　「おはようございます」（中休みまで）「こんにちは」「さようなら」
・友達は「さん」をつけて呼ぶ。
・相手を傷つける言葉は使わない。
・名前を呼ばれたら「はい」と返事をする。
・１～４年生は、目上の人に対する丁寧な言葉遣い「～です」「～ます」を使う。
・５～６年生は、敬語を使いこなせるようにする。

（イ）整列

・体育館、校庭で集合するときは、おしゃべりをせずに無言で並ぶ。
・頭をそろえて、まっすぐに並ぶ。
・各学年の１組（左列）にそろえる。
・「休め」・・・左足を一歩横に広げる。手を後ろで組む。「休め」は教師が言う。
・「体育座り」・・・背中を伸ばし、膝を胸に抱える。
・「礼」・・・ステージや号令台に教員が立ち、一歩前に出たら「礼」をし、「休め」をする。話が終わったら「気をつけ」をし、「礼」をする。
・語先後礼で挨拶をする。
　※「おはようございます」→礼

（ウ）校舎内

・教室・・・換気のため、窓を開け、換気扇をつける。
　冬場は加湿器も稼働する。
・階段・・・右側通行をする。走ったり、ふざけたりしない。踊り場で遊ばない。
　西階段は使わない。
・廊下・・・右側通行をする。走ったり、ふざけたりしない。
　職員室の前はサイレントゾーンとし、絶対にしゃべらない。
・玄関・・・遊ばない。（鬼ごっこ、ボール遊び不可）
・移動・・・教室移動のときは、整列をし、担任を先頭におしゃべりをせずに無言で歩く。

給食スタンダード

１　準備の仕方

（ア）机の上を片付け、教室をきれいにしてから、配膳の準備を始める。
（イ）当番の人は、先に手を洗い、白衣を着てマスクをし、配膳台をふきんでふく。
　　マスクはいつでも使えるようにランドセルに入れておく。
（ウ）当番は担任と一緒に給食ワゴンを取りに行く。
（エ）給食ワゴンは、静かに運ぶ。
　　※両脇を持って運搬する。給食ワゴンに乗ったり足をかけたりしない。
（オ）手洗いは、手洗いの順序にしたがって、きれいに洗い、消毒をする。

２　配膳の仕方

（ア）配膳台をきれいにふく。
　　※お盆、パン・ご飯、おかず、デザートの順に並べると盛り付けに便利。
（イ）お盆の上の並べ方は、決められたようにのせる。
（ウ）配膳中は静かにすわって待つ。

アレルギー対応のあるメニューの場合には、担任が立会いの下でワゴンを受け取る。配膳は担任が立会いの下、一番初めに行う。また、アレルギーのある児童が給食当番にあたる場合には、アレルギーのある食缶からは離れて配膳ができるよう、配慮をする。

３　食事の仕方

（ア）みんなでそろって「いただきます」の挨拶をする。＜姿勢チェック＞
（イ）よくかんで、食べる。
（ウ）牛乳は急がず、ゆっくり飲む。
（エ）よい姿勢で食べる。
（オ）給食放送が流れている間はだまって食べる。（もぐもぐタイム）
（カ）２０分間で食べる。
（キ）マナーよく食べる。
（ク）食缶が空になる、または１３時１０分までは、個人的に片づけない。みんなでそろって「ごちそうさまでした」の挨拶をして順次片付ける。＜姿勢チェック＞

＜姿勢チェック＞
下学年：グー（机との間）、ペタ（足の裏）、
　　ピン（背中）、サッ（手のひら上）
上学年：足裏ぺったん、おへそは前に腰立てて、
　　手のひら上向きよい姿勢





4　後片付けの仕方

（ア）お盆・・・かごに横に重ねる。

（イ）スプーン・フォーク・はし・・・向きをそろえて、かごに入れる。

（ウ）皿・・・きちんと重ねて、食器かごに入れる。
　　中に食べ残しを入れたままにしないようにする。

（エ）残さい・・・残さいは、入ってきた食かんに戻す。
　　飲み残した牛乳は、給食室前の食缶に戻す。
　　飲まない牛乳は、そのまま返す。

（オ）牛乳パック・・・洗って開いて、リサイクルする。
　　（詳細は、次ページ「資料：牛乳パックのリサイクルについて」参照）

（カ）配膳台・・・給食の後に、配膳台をきれいにふいて片付ける。

（キ）給食ワゴン・・・給食当番は、返された食器を点検して、給食ワゴンにきちんとのせ、決められた場所に返す。
　　全員の分がそろってから、返しに行く。

（ク）割れ食器・・・担任の先生と一緒に栄養士さんに渡す。



（資料）

牛乳パックのリサイクルについて

① 給食時、牛乳を飲み終わった児童から、牛乳パックを洗う。数回水でゆすげばよい。
② 教室の所定の場所に、牛乳パックを裏返して置き、乾かす。
クラスごとに決められたカゴの中に置く。個人情報への配慮から、個人名は書かない。
書くのであれば、出席番号だけにする。
カゴにシールを貼るなどして、カゴの中に児童ごとの置き場を指定してもよい。
③ 翌朝、登校し朝の準備の済んだ児童から、自分の牛乳パックを取り、パックののりしろに沿って、手で開き、平らにし、教室内の所定の場所に置く。
④ 掃除の時間に、児童（牛乳アレルギーのない児童であることを確認）が、ごみ置き場に設置された、リサイクル牛乳パック専用置き場に置きに行く。

※牛乳アレルギーのある児童がいる場合は、水飲み場の配慮を必ずする。



※牛乳パックは、一晩乾かしたものを、手でゆっくり開くと、写真のようになります。

清掃スタンダード

ほうきの使い方

（ア）ほうきの使い方

・ほうきの向きを確認し、ほうきの穂先が全部床に着くようにし、利き手で正しく持つ。

（イ）ほうきの掃き方

・ほこりを立てないようにほうきを小刻みに使う。
・ごみのある無しに関わらず、一列に並んで掃く。
・自在ぼうきの上に乗らない。（足をかけない）

（ウ）ごみの集め方

・ごみを集める場所を決めておき、ごみを残さないように掃いていく。
・ほうきでごみを掃き集めながら、ちりとりを少しずつ後ろに引き、ごみを残さないように入れる。

（エ）ごみの捨て方

・燃えるごみ（紙)、燃えないごみ（ビニル、プラスチック類）を分別する。
・ごみ箱のごみは、毎日、ごみ置き場に必ず捨てる。
・ごみの置き場に持っていき、ごみを散らかさないように捨てる。
・ゴミ箱の中には、原則ビニール袋をつけない。

（オ）ほうきのしまい方

・掃除用具ロッカーのフックに、ほうきとちりとりをかける。

２　雑巾の使い方

（ア）からぶき用雑巾

・床を拭くときは、原則的にからぶき用雑巾を使用し、雑巾を広げて両手で押さえ、前へ進む。
・進み方は、ほうき隊が掃き終わった後ろを、一列に並んで拭く。
・使い終わった雑巾は、ほこりをはらってから、自分の机にかける。
・雑巾が机から落ちないように、必ず洗濯バサミでとめる。

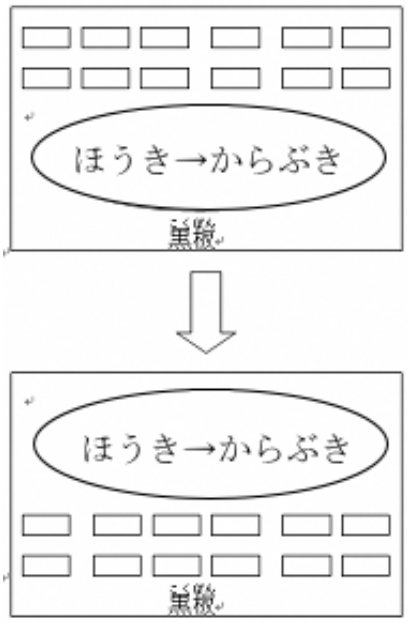
（イ）水ぶき用雑巾

・雑巾は、両手で水が出なくなるまできつくしぼる。
・広げた雑巾を二つ折りにして、力を入れて拭く。（ふく場所は、黒板のさん、机の上、ロッカーの上、棚の上）　※窓は拭かない。（危ないから）

・雑巾が汚れたら、きれいな面にして使う。（４面使える）
・使い終わった雑巾は、よく洗って、自分の机にかける。
・雑巾が机から落ちないように、必ず洗濯バサミでとめる。

３　そうじの方法

①机を教室後方に移動する。（いすは上げない）
②教室前方から、掃除をする。
③前方黒板側から、後方ロッカー側に掃く。後方
　廊下側にごみを集める。ちりとりでごみを取る。
④掃かれたところから、からぶきをする。
⑤机を運び、教室の残り半分を掃除する。
　　※机は、持ち上げて運ぶ。
⑥後ろ半分も、前同様に掃除をする。
⑦机を元に戻す。
⑧終わった後は、振り返りをする。



※特別教室等の出張掃除は、担当の教員が出張等で不在の場合は、なしとする。

宿題スタンダード

１　宿題は、基本、毎日同じ種類のものを出します。

（ア）低学年

・漢字練習、計算プリント（または計算ドリル、計算カード、ミライシード)、
音読（家の人がサインをお願いします）

１年生：入門期（１学期）は、平仮名、片仮名の練習と言葉調べ。

・日記・作文（週に１回程度）

・時期によって、お手伝いなど

（イ）中学年

・漢字練習（新出漢字は１日４文字程度)、計算ドリル（またはミライシード)、
音読（家の人がサインをお願いします）

・日記・作文（週に１回程度３年生のみ）

・自主学習　（週に１回程度４年生のみ）

（ウ）高学年

・漢字練習、計算ドリル（またはミライシード)、計算プリント、必要に応じてはミライシード、国語の単元によって音読（家の人がサインをお願いします）

・自主学習　（週に１回程度）

２　宿題をする時間と場所を決めてください。

（ア）家の人と相談して、やる時間と場所を決めましょう。

（イ）決めた時間や場所を以下の表にまとめ、常に見える位置に置いておきましょう。

	日	月	火	水	木	金	土
時 間	：　～	：　～	：　～	：　～	：　～	：　～	：　～
場 所							

担任は、定期的に児童の家庭学習実施状況を保護者に通知します。

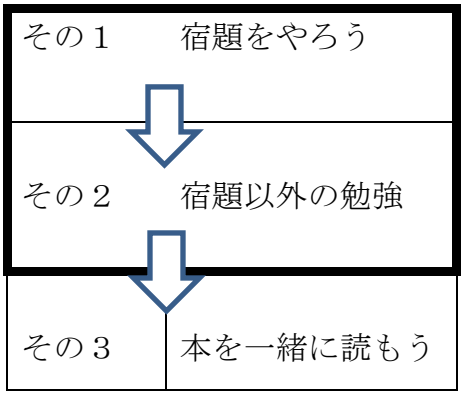
（ウ）宿題をやってくることが難しい児童については、担任と保護者・児童とで相談し、全て一律ではなく、場合によっては児童の実態に合わせ、分量を調節するなどして、個に応じた対応をすることを検討する。

家庭学習スタンダード

１　「家庭学習の進め方　３か条」を守りましょう。

その１．その２．その３の流れを守り、家庭学習を進める。おやつの後にその１から始めたり、その１とその２の間に夕食が入ったりしても良い。

（ア）低学年（家庭学習時間の目安・・・学年×１０分）



・その１　宿題をやろう

宿題をやる時間になったら決まった場所で行う。

・その２　宿題以外の勉強

宿題が終わったら、自分の興味関心のあることについて調べたり、観察したりする。

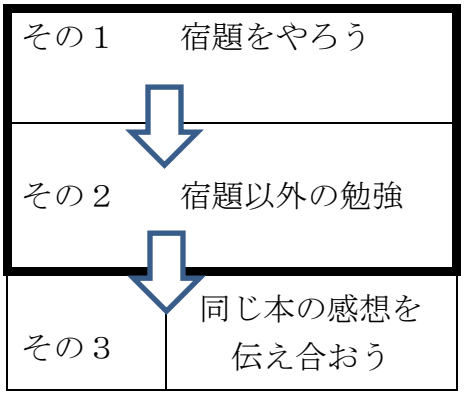
家の手伝いをしてもよい。

・その３　本を一緒に読もう

家の人と児童が同じ本を一緒に読む時間をなるべく作ってください。

寝る前に読み聞かせをするなどでも良い。

（イ）中学年（家庭学習時間の目安・・・学年×１０分）



・その１　宿題をやろう

宿題をやる時間になったら決まった場所で行う。

必ず最後までやり通すようお声かけください。

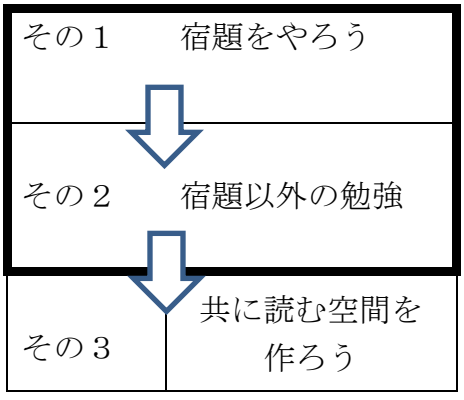
・その２　宿題以外の勉強

宿題が終わったら、自分の興味関心のあることについて調べたり、観察したりする。

・その３　本を一緒に読もう

家の人と児童が同じ本を読めるような環境作りにご協力ください。そして、感想を話す機会をなるべく作ってください。

（ウ）高学年（家庭学習時間の目安・・・学年×１０分）



・その１　宿題をやろう

宿題をやる時間になったら決まった場所で行う。

必ず最後までやり通すようお声かけください。

・その２　宿題以外の勉強

宿題が終わったら、自分の興味関心のあることや疑問に思ったことについて調べ、まとめる。

・その３　共に読む空間を作ろう

家の人と児童が本を一緒に読む時間をなるべく作ってください。